

バルブユーザーのみなさまへ

バルブご使用時の 注意事項

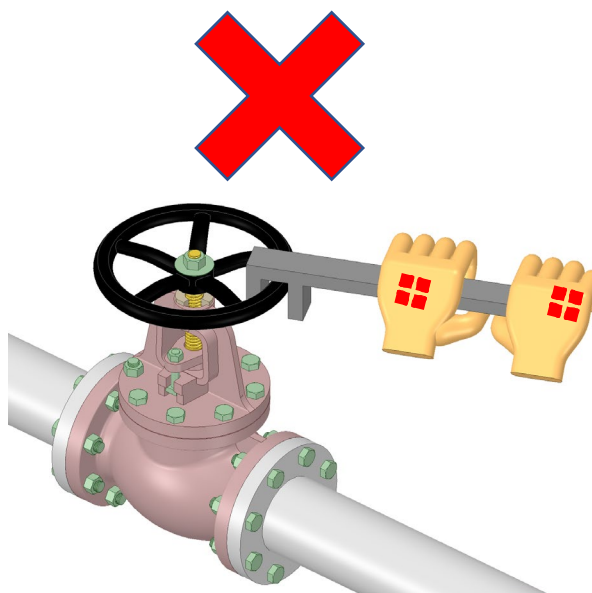
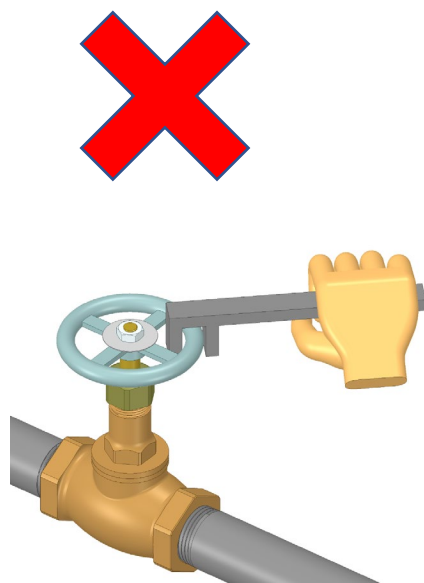
制作：一般社団法人日本バルブ工業会 バルブ部会建築用分科会



バルブご使用時の注意事項 ①

ハンドルを必要以上のトルクで
操作しないでください

弁種や構造に適したトルクでバルブ操作を行いましょう



操作トルクは規定トルク
(JV-3附属書C)以内

手動弁を手で操作することが困難な場合は、規定されたトルクを超えない範囲でハンドル回しをご使用ください（JV3附属書Cにトルクが規定されています）

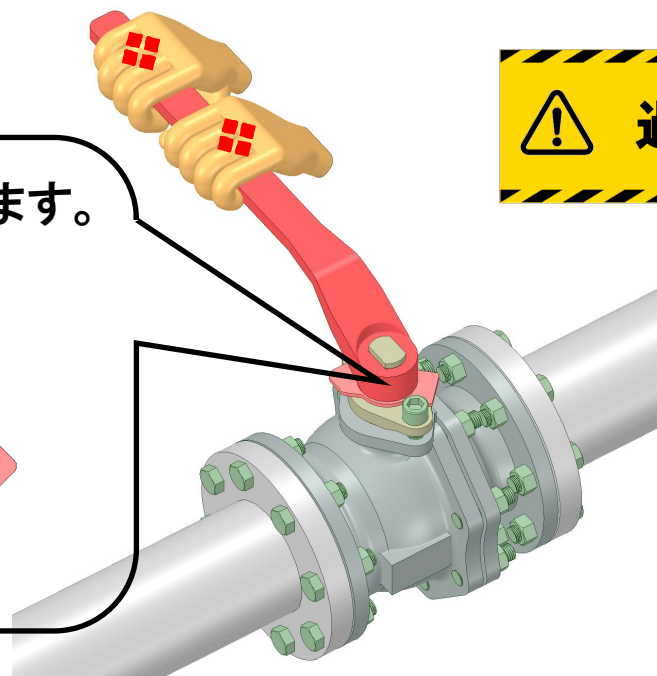
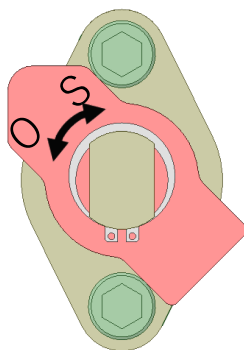
バルブご使用時の注意事項 ②

ボール弁とバタフライ弁の ハンドル操作に注意しましょう

ボール弁とバタフライ弁は閉止位置が決まっているので
操作トルクをそれ以上加えてはいけません

ボール弁は「S」の位置で全閉となります。

全閉位置にて更に
操作トルクを加えないで
ください。

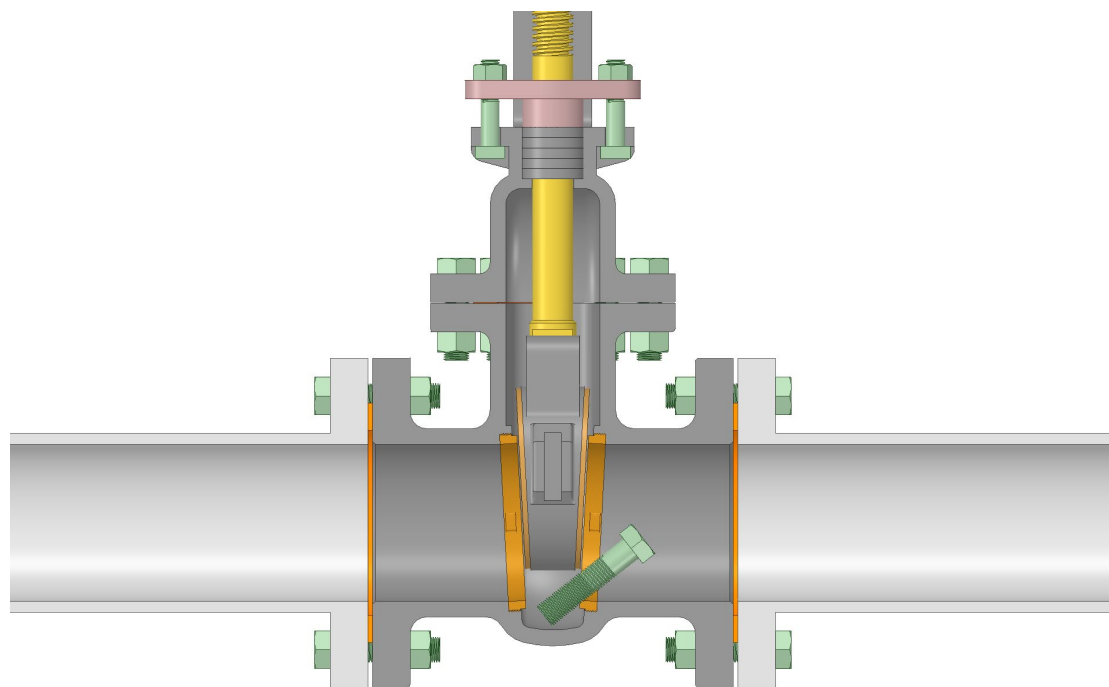


バルブご使用時の注意事項 ③

公開 2022.12

異物の噛み込みには注意しましょう

全閉にならないなど、正常な作動ができない恐れがあります



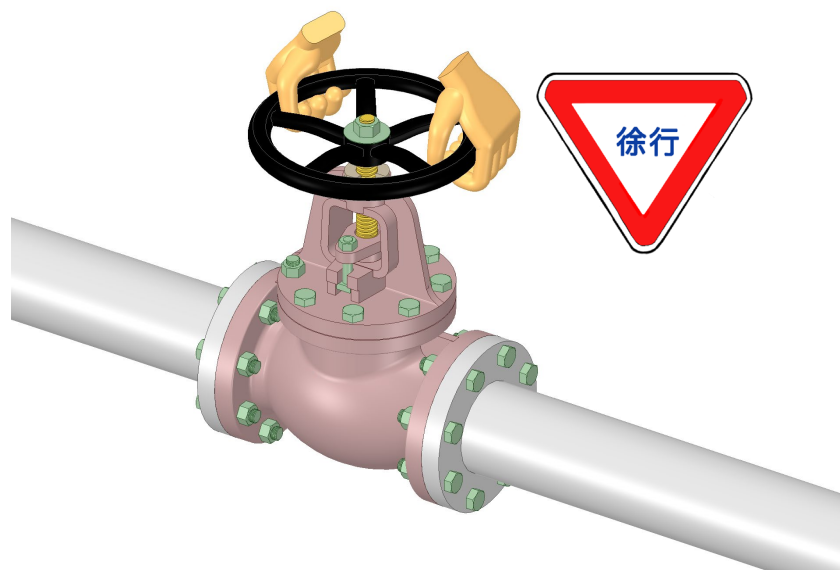
異物噛み込みは弁座漏れの原因となります。配管取付け後は、ブローイングまたはフラッシングを十分に行い、配管内の異物を除去してください。

バルブご使用時の注意事項 ④

公開 2022.12

バルブを開閉するときは ゆっくりハンドル操作してください

バルブを急に開閉するとウォーターハンマーやスチームハンマーが発生し
配管にダメージを与える恐れがあります



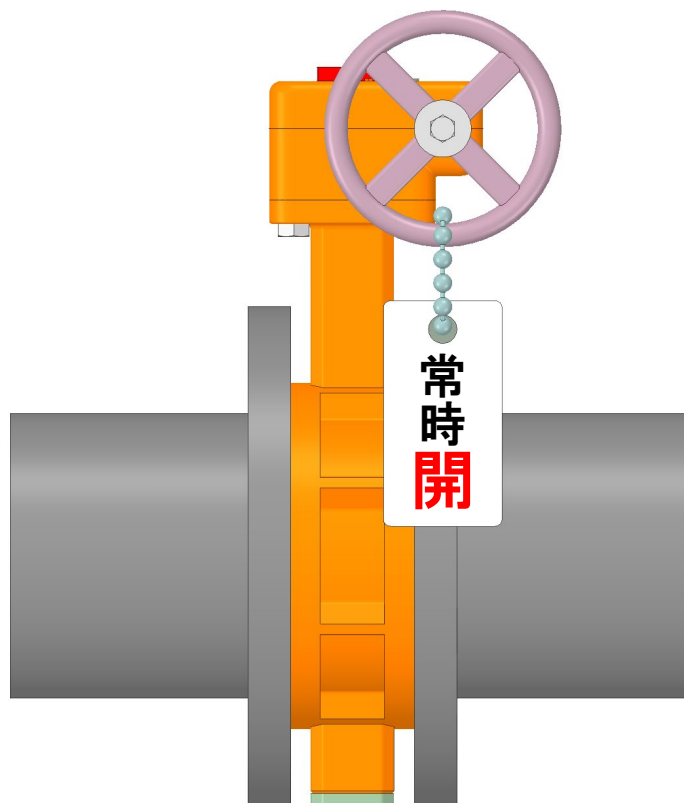
バルブの開閉操作は、流体の通過音、操作の感触、弁棒の動きなどに注意して有害な振動・異常音の有無及びバルブが円滑に作動することを確認しながら行ってください。

バルブご使用時の注意事項 ⑤

公開 2022.12

バルブの誤作動には注意しましょう

開閉表示・タグの取付、識別表示、ハンドルの施錠を行ってください

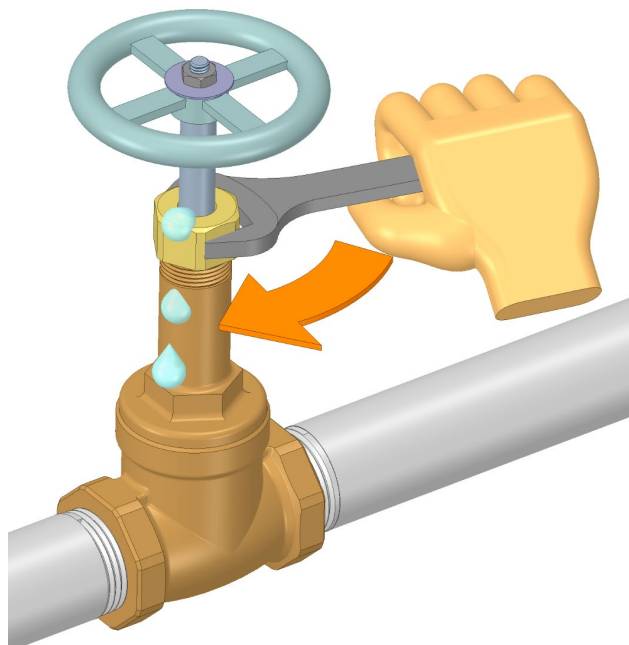


バルブご使用時の注意事項 ⑥

公開 2022.12

パッキンを増し締めしましょう

グラウンド漏れを防ぐため
バルブの配管時にはパッキンを増し締めしてください

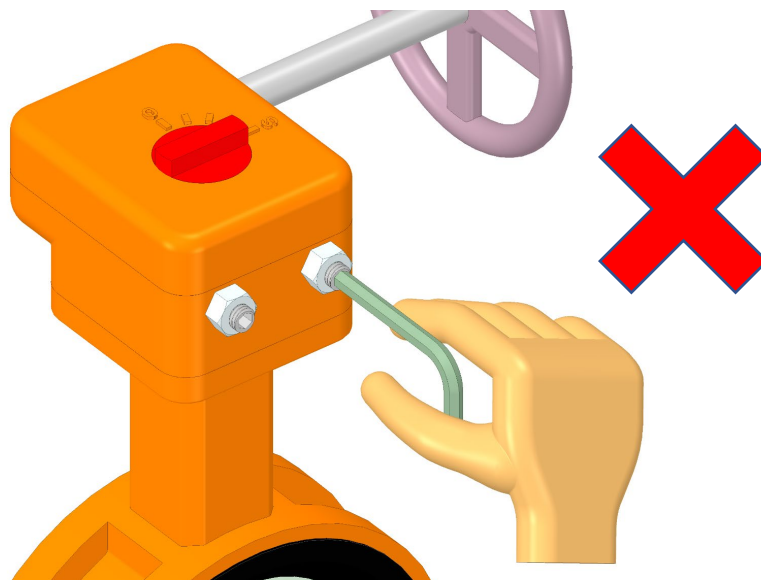


バルブご使用時の注意事項 ⑦

公開 2022.12

ギア・駆動部にあるストッパーボルトは 絶対に触らないようにしましょう

駆動部にあるストッパーボルトをゆるめたり締め付けたりすると
漏洩や作動不良につながります



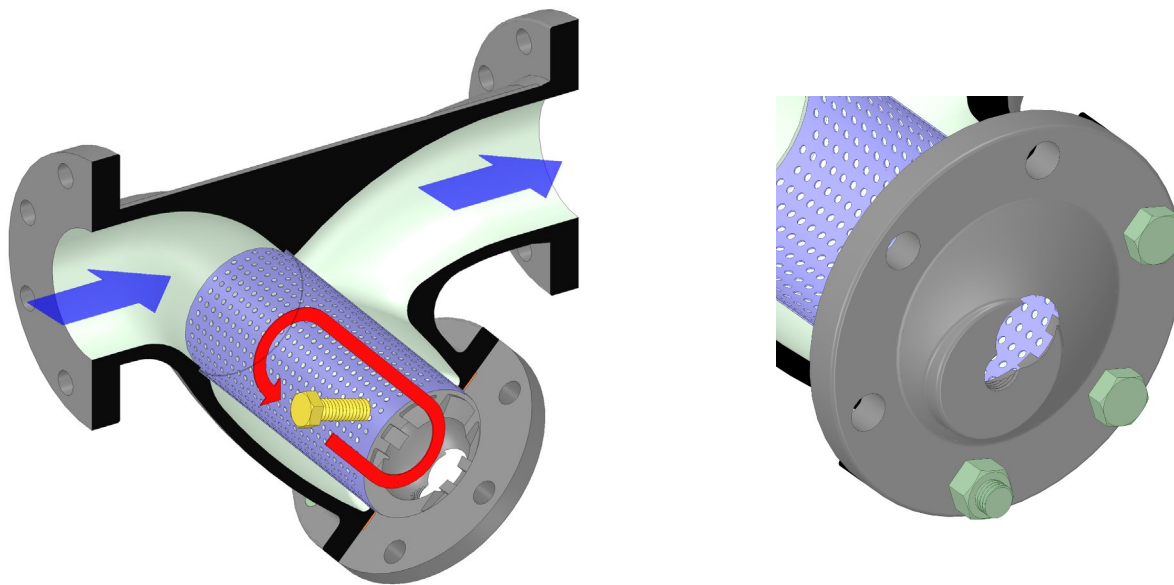
駆動部にあるストッパーボルトは弁体の締め代位置を固定していますので、ゆるめたり締め付けたりすると締め切り位置が変化します。

バルブご使用時の注意事項 ⑧

公開 2022.12

Y形ストレーナキャップ部の 摩耗・穴あき貫通について注意しましょう

定期的に分解、点検し固形物の除去をしてください



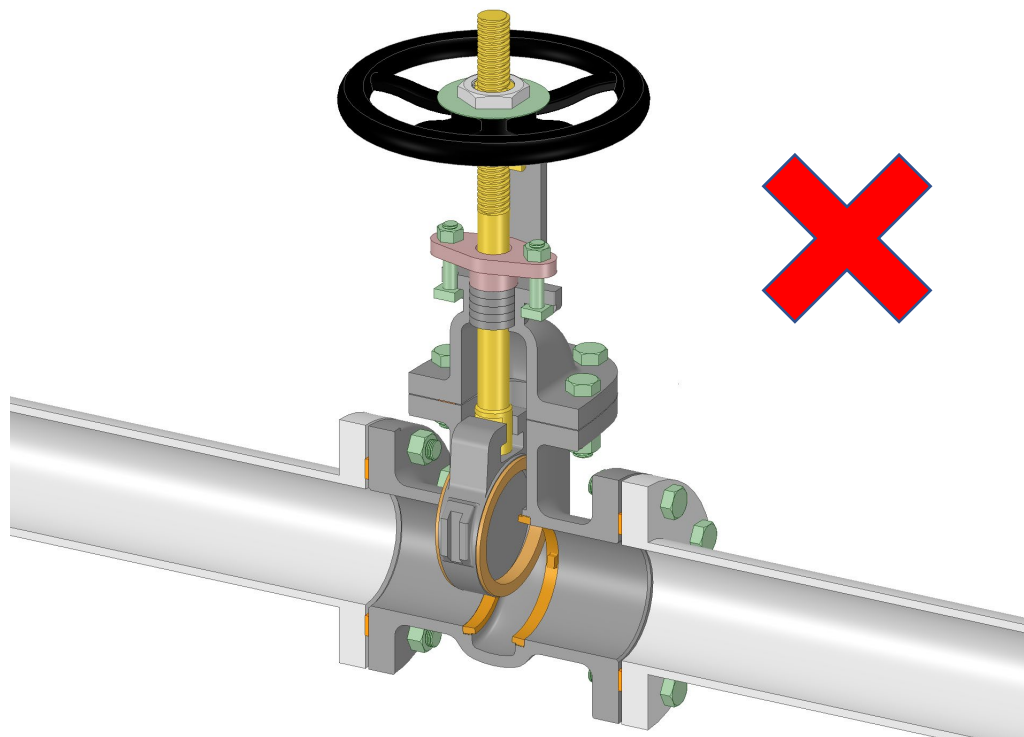
使用中に、個体ゴミ（ナット等）が入ると、回転して摩耗し穴を開けてしまいます。

バルブご使用時の注意事項 ⑨

公開 2022.12

ゲート弁は全開または全閉で使用しましょう

ゲート弁を中間開度で長時間保持すると
弁座面が損傷しトラブルのもとになります

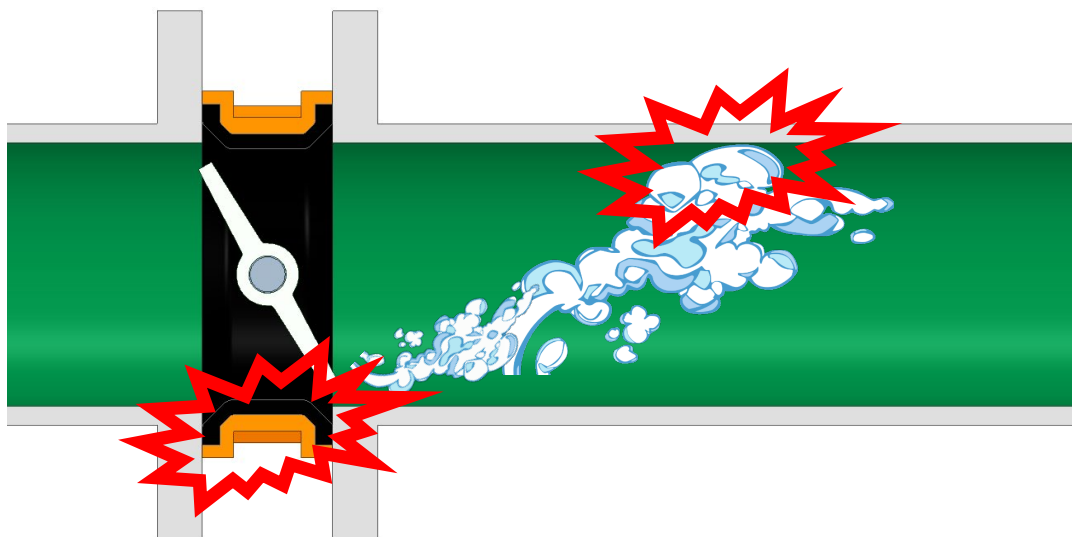


バルブご使用時の注意事項 ⑩

公開 2022.12

バタフライ弁の微小開度ご使用時は 注意しましょう

微小開度にした場合、弁体近くの流体が部分的に高流速となり、シート損傷の原因につながります



流体が高流速になるとキャビテーションが発生する場合があります。調節弁以外のフラット形状の弁体に関して開度 30° 以下で制御される場合は、メーカーにお問合せください。

バルブユーザーのみなさまへ バルブご使用時の注意事項

第1版発行日: 2022年12月26日

第2版発行日: 2025年 1月 8日

制作：一般社団法人日本バルブ工業会 バルブ部会建築用分科会

(社名50音順) イハラサイエンス株式会社、オーエヌ工業株式会社、株式会社オーケーエム、
株式会社キッツ、株式会社昭和バルブ製作所、株式会社TOA、東洋バルブ株式会社、
巴バルブ株式会社、株式会社フジキン、株式会社ベン、株式会社大和バルブ、株式会社ヨシタケ



このコンテンツに含まれるテキストや画像等の無断転載はご遠慮ください。

©一般社団法人日本バルブ工業会